

エコけん ニュース

No. 86

2006. 9

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00)

e-mail eco_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

8月活動報告



このところ、あんなに暑かった夏がうそのように、めっきり涼しくなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

自主事業においては、今年で3回目の教育大のエネルギー環境教育入門の公開講座も無事役目を果たすことが出来ました。おかげで自分たちの方向性にもずいぶん整理がついてきました。

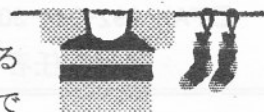
エコロの森の夏休み教室期間中は、エコロの森通信に記載の教室以外に、エコロ環境教室の依頼も数多くいただき、エコロまつりの準備やその他諸々、息つく間も無いような楽しい毎日でした。秋には少し充電も必要かなと思っています。

秋の風吹くエコロの森へもどうぞおこしください。お待ちしております。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
1		廃材アート(ペットロケット・エコ工作) ボラ会(クッキング) 夏休み教室
2	夏休み教室もだいぶ周知がすすんだようで、連日満員御礼! ありがとうございます	子どもエコエコクッキング ボラ会(段ボール迷路)
3		廃材アート(モバイル) エコ環境館(育成会) ボラ会(クッキング)
4		子どもエコクッキング エコ環境館(うみがめ課) ボラ会(アート)
5		廃材アート(エコ虫) エコ環境教室(小学校) ボラ会(迷路) エコアリア再生家具・自転車展示
7	定例会	運営会議
8		エコ環境教室(市民)
11		エコ環境教室(事業者) ボラ会(段ボール迷路)
16	ニュースレター16号配信	
17	福岡教育大学公開講座 講師・受講 ↑	エコ環境教室(古賀市秘書課)
18		エコ環境教室(市民講座)
19		廃材アート(新聞紙年度) バイク修理
22		教室会議 ボラ育成会議 展示会議
23		エコ環境教室(工場見学参加者)
24		エコ環境教室(任意団体)
25		廃材アート(空き缶) ボラ会(迷路) 子どもエコ講座(人形劇)
26		廃材アート(パッルケース) かえっこショップ 段ボール迷路解体 ↓
29	出前講座(久留米市任意団体) 上津クリンセンター見学	
30	エコけんニュース85号発行	ほっとちやっと39号発行
31		掲示板更新

1日100g 捨ててるんですって!?

お子さんをお持ちのご家庭なら、ほぼ毎日洗濯されていることと思います。食器洗いも洗剤なしには、考えられないでしょう。でもご存知でしたか?合成洗剤の年間販売量から一家族当たりの使用量を算出すると、毎日100~120gを河川に捨てているのと同じことになるそうです。そこで洗剤を減らす方法をいろいろと探してみました。



ひと昔前まで「水質汚染といえば工場排水⇒公害」と思っていたら、最近の主な汚染源は、わたしたちの「家庭からでる生活排水!!」らしい

その① スポンジの代わりに…

最近「洗剤不要」の洗い布など見かけるようになりましたが、もうお試しになりましたか?これらの製品を使えば、水やお湯だけでも意外ときれいになり、洗い物が簡単になります。様々な製品が市販されているので、「洗剤不要」の文字を見つけたら、一度お試してください。
*エコロの森のクッキング教室でも使われています。



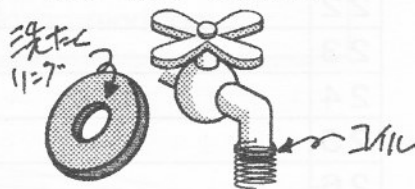
その② 重曹がお勧め!

「洗剤不要」というけれど、油污れがひどい時はちと不安。そんな時、水で固く絞った布に重曹をつけて洗ってみてください。カレーや黒ずんだ糸底もあ~ら不思議、きれいにとれます。
*でもその前にヘラやぼろ布などでふき取ることもお忘れなく…

その③ ついでに水道料もダイエット

洗濯も「着たら洗う」から「汚れたら洗う」に変えてみませんか?他にも、洗剤不要の洗濯リングやエコロの森製「水量体感コイル」など、ご紹介したいものがたくさんあります。

*エコロの森にお立ち寄りの際にご覧ください。
10月8日のエコロまつりでも展示予定です。



水にまつわる問題は、なかなか奥深いことがわかりました。私たちの暮らしに密接な水を大切にするために、小さなことから試していきたいと思えます。

コーディネーター養成講座 に行ってきました!

アーティストと主催者をつなぎ、プログラム作成やワークショップ運営を円滑に進めるために活動するコーディネーターの養成講座。エコロの森での廃材アート活動につながればと思い参加しました。



■ 第1講 6月25日(日) 「子どもとアート」最前線

アーティストが学校で授業を行う活動の先進事例である神奈川県「アート教育事業」についてコーディネーター・教員・アーティストそれぞれの立場から意義や課題を語っていただきました。アートと言っても幅広く、事例の内容は演劇でした。

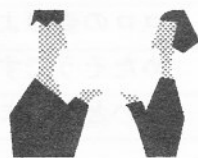
この日は私達も実際に舞台演出家のワークショップを体験しました。ワークショップのキーワードは“衝動”。[受講者全員で輪になり、キッカケになる人が表したポーズと声をまわす。途中で変えたいと思ったら別のポーズを逆まわりに返す]衝動が連鎖していつのまにか皆ワイワイガヤガヤ、あ〜スッキリ。

理屈で考えるのではなく、演劇・音楽・美術など、アートという手法だから伝えられることがある。そんな思いで活動しているアーティストに触れることが出来ました。

エコロの森では環境について考えるときにアートの視点を取り入れています。この講座を通して地域で活動しているアーティストと繋がりが持ちたいと思います。

■ 第2講 7月8日(土) 「コーディネーター」ってどんな人?

NPO 法人の活動として表現教育活動をしている実際の仕事の様子を聞きました。コーディネーターはアーティストの立場、主催者の立場を理解し、目的をきちんと言葉で説明するもの、仲介人でありプレゼンターであり、目立たないけれども担うものは大きいと感じました。



■ 第3講 7月8日(土) あなたの「コーディネーター」度チェック

第2講座と同日、後半はコーディネーター適正チェックとタイプチェックを行いました。ユーモアも交えたチェックシートで良くできており、自分のタイプが客観的にわかりました。(①調整上手のコーディネータータイプ、②経営上手のプロデューサータイプ、③事務や法律に強いアドミニストレータータイプ、④芸術家肌のアーティストタイプの4つ。ちなみに私は①でした。)

自分に足りないところを嘆くのではなく、違うタイプの人と組んでチームとしてバランスが取れるようにすると良いとのこと。さてエコけんは…?



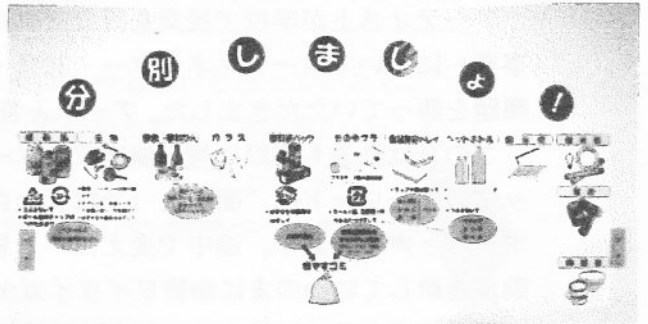
入門編に続き、初級編は全6講座、9月から始まります。最後は受講生でワークショップを企画・実施するそうです。学び、吸収して実践出来るよう頑張りたいと思います。

エコステだより

インターンシップ「のんちゃん」その後

半年前にタイの留学生をインターンシップで受け入れたことのお知らせをしました。遅くなりましたが、インターンシップその後です。

のんちゃん(留学生の愛称)は、4月半ばから5月末まで、エコロの森ステーションの仕事を手伝ったり、登録ボランティアさんと一緒に古布織りや紙すき教室の準備などしました。再生展示棟2F通路にできた“分別しましょ”コーナーは彼女が手伝ってくれた成果のひとつです。来館の折にご覧ください。



▲すっきりわかりやすい展示です

また、エコロ環境教室や館外教室で出向いた小学校で、バンコクのごみ処理事情を報告する機会がありました。子ども達の質問に、一生懸命かたことの日本語で答えていたのが印象に残っています。大都会育ちの若者ながら、お弁当を持参してタイの家庭料理を味見させてくれたり、お茶碗をあらったりと素直で、まじめな女の子でした。

エコロの森の活動に影響されて、のんちゃんは900万都市のバンコクにも、エコロの森のようなリサイクルセンターが必要だと、まわりの人にアピールを始めたそうです。エコロの森の種が遠いバンコクで小さな芽を出すことを期待したいと思います。



まなび つどい つむぐ
エコロの森 再生・展示棟
ecolo no mori station

◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 電話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

❖ 9月18日に襲来した台風13号。皆様のところでは被害はありませんでしたか。通り過ぎるのをじっと待つ時間は、怖いものだなあと感じました。